

【道徳・小3・「どうすることが正しいか」 A 善悪の判断、自律、自由と責任】①

育成を目指す資質・能力

(内容項目) A 主として自分自身に関すること 善悪の判断、自律、自由と責任
(ねらい) 相手が誰であっても、正しいと思ったことは、自信をもって実行していこうとする心情を育てる。

ICT活用のポイント

一つの学習支援ソフトを一貫して活用する。

- ・必要な情報を可視化できるようにする。
- ・提出された意見を全体で共有し、自らの考えを広げられるようにする。
- ・提出された意見を集約し、道徳的価値に迫れるようにする。

事例の概要

【導入】
本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。

【展開】
教科書の教材の範読を聞く。

【展開】
・道徳的価値について考えをもち交流する。
・めあてについてもう一度考える。

【終末】
道徳的価値に対する自分の考えを振り返る。

一つの学習支援ソフト

【事例におけるICT活用場面①】

○大型提示装置でアンケート結果を確認し、道徳的価値についての問題意識をもつ。

【事例におけるICT活用場面②】

○登場人物の関係性を大型提示装置で確認しながら、内容を把握する。

【事例におけるICT活用場面③】

- 主人公の気持ちを記入し、カメラ機能を活用して撮影する。
撮影したカードを学習支援ソフトに提出し、全員で共有する。
- お互いのカードを見合って、多様な考えに触れ、自分の考えを広げる。
- 学習支援ソフトのリード文が入力されたカードの続きに、自分の考えを入力し提出する。
- 提出されたカードを基に役割演技を行い、自分事として考える。

【道徳・小3・「どうすることが正しいか」 A 善悪の判断、自律、自由と責任】②

【事例におけるICT活用場面①】

正しいと思うのに
できない時はどんな時ですか？

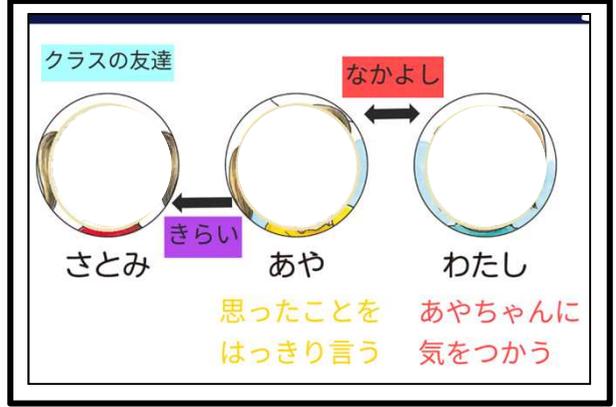
- ・いそがしい時
- ・イライラしている時
- ・自分が今やっていることに
むちゅうになっている時
- ・なかよしの友達といっしょに遊んでいる時

わたしもそうだな。

活用したソフトや機能・・・大型提示装置・学習支援ソフト
(アンケート結果の提示、登場人物の関係性の提示)

本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ場面では、事前アンケートの結果を学習支援ソフトにまとめ、大型提示装置に示した。児童の実態を可視化することで問題意識を明確にもって、本時の道徳的価値に迫る意欲を高めることができた。

【事例におけるICT活用場面②】



分かっているけれど
できないんだよな。

教材文の範読を聞く場面では、事前に登場人物の関係性をおさえ、大型提示装置に示した。主人公の立場を意識しながら範読を聞き、内容を把握することができた。

【事例におけるICT活用場面③】

ねえ、あやちゃん。こうみんかんのことなんだけど、

この吹き出しの中に、
言葉を入れよう。
私だったら○○○と言いたいな。

わたし

道徳的価値について考えをもち交流する場面では、主人公のモヤモヤする気持ちを考えワークシートに記入した。記入した内容をカメラ機能で撮影し、学習支援ソフトに提出して考えの共有を行った。撮影して提出することは時間短縮にもつながり、全体で共有し考えを広げる時間を多めにとることができた。

学習のめあてについてもう一度振り返る場面では、教師が事前に用意したリード文付きのカードに沿って、考えを入力した。カードを提出し全体で共有した後、画面で確認しながら役割演技を行った。提出した児童の考えを即時に把握できるため、意図的指名を行うことができ、本時の道徳的価値により迫れることができた。

活用したソフトや機能・・・学習支援ソフト
(カメラ機能、課題の提出、考えの共有)

一つの学習支援ソフトで行うことで、児童は戸惑うことなく学習に取り組むことができた。